

ふれあいカフェで  
地域のつながり無限大  
おしゃべりして楽しむ場所が、  
お年寄り見守りの場や、  
若いお母さんの学校、お嫁さん  
の交流の場に

萩原町上村区では、  
2年ほど前から毎週水  
曜日の午前中「ふれあ  
いカフェ」を開店して  
います。

「ふれあいカフェ」  
とは、区民が喫茶店感  
覚で気軽に集まって交  
流できる場所のこと  
で、1回100円で利  
用できます。

始めたきっかけは、  
独り暮らしのお年寄り  
が外出の機会が無いと  
一日中会話をしない日  
があると聞いたことだ  
です。みんなで集える場  
所があったら良いなど  
思いつき、民生委員と  
有志らで取りかかりま  
した。  
始めた頃は人が集ま



▶お菓子を摘まんでコーヒーを飲みながら、談笑を楽しむ参加者。萩原町上村、上村公民館

障がい者とバーベキュー大会で  
心のふれあい、  
地域のつながりづくり

毎年10月中旬に開催して  
いる障がい者やその家族の  
ためのバーベキュー大会  
に、下呂地域の民生委員・  
児童委員が協力していま  
す。

久野川の「まるかりの里」  
で行われ、民生委員らは、  
早朝から、会場の設営や食  
材の切り分けなどをして参  
加者を待ち受けます。「今  
年も来てよかったな」ま



▶参加者と一緒に餅をつく民生委員。久野川、まるかりの里

▶参加者にバーベキューを  
振る舞う民生委員  
。久野川、まるかりの里



めやったかな」と出迎えて  
早速、バーベキューを始め  
ます。その後、餅つき大会、  
カラオケ大会、ビンゴ大会  
と続き、参加者と一緒に楽  
しみます。「餅の」つきた  
てはおいしいな「楽しかつ  
たよ」「来年も来るさ」と  
笑顔で言われると、また来  
年も頑張るぞという気持ち  
になります。

この事業で、障がい者と  
交流が深まり、街で出会え  
ば、「元気かね?」「秋に会お  
うな!」と声を掛けることが  
できるようになりました。

る心配でしたが、今では毎回20人から30人の区民に利用され、情報交換やおしゃべりを楽しんでいきます。毎週楽しみにしている人も多く、そんな声を聞くことがよかったです。

お年寄りの寂しさを解消の他にも、よいことがありました。いつも利用している人の様子の変化が分かったり、来

なかつた時にはその人の体調を気にすることができたり、見守りにもなっていることです。

今後は、子育て中の若いお母さんや、他地区から嫁いできたお嫁さんにも利用してもらい、情報交換や「おばあちゃんの知恵袋」を学んだりできる場にもなるといいなと思っています。



▶春と秋の年2回、お弁当を取って昼食を楽しむ参加者  
 〓萩原町上村、上村公民館

## 「かなやまシニアふれあいピック」に協力して、

### 高齢者見守り活動を強化

今年で42回目を迎える金山地域の伝統行事に、「かなやまシニアふれあいピック」があります。これは、

高齢者が選手として出場する運動会のことです。競技の他にもフォークダンス、仮

装行列、踊りなどが行われ、参加する高齢者は毎年とても楽しみにしています。

この行事は金山町シニアクラブ連合会の主催により行われていますが、競技係員や準備などのスタッフと



▶高齢者が運動を楽しむことができるように見守る民生委員〓金山町金山、リバーサイドスポーツセンター

して、金山地域の民生委員・児童委員や、社会福祉協議会金山支部、下呂市などの人たちが、行事開始時から協力しています。

後日、訪問に行くと、競技に参加して面白かったこと、久しぶりに会えた友人の話などを楽しそうに話してもらい、温かい気持ちにもなります。

これからも、地域の身近な民生委員として、人とのふれあいを大切にしながら見守り活動をしていきたいと思っています。



▶民生委員が見守る中、仮装行列を楽しむ参加者  
 〓金山町金山、リバーサイドスポーツセンター